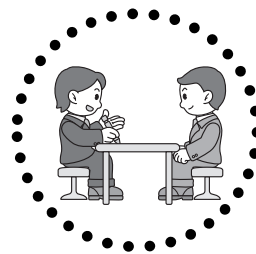


特集 面接対策



皆様は今まで何回くらい面接を受けられたことがありますか？面接は、何度受けてもとても緊張しますし、面接後の疲労は大きいものがあります。さらに、その面接の内容があれで良かったのかと何度も思い返す方もいらっしゃるでしょう。

今回は、面接対策を特集として取り上げてみました。記事を参考にご自身の面接対策を立て、少しでも自信を持って面接に臨むことができればと思っています。

1 面接とは？

面接を受けたことがありますか？面接は、求人者が応募者を見定めるだけでなく、応募者側もその会社に合っているかを見定める場でもあります。

1. 求人者はあなたのどこを見たいのでしょうか？

- ① 履歴書や職務経歴書から募集職種において必要な経験・知識・資格の有無など。
- ② その企業への関心・志望動機・意欲・自発性など。
- ③ 上司・同僚・部下との協調性の有無、期待できる貢献度、待遇など。

以上のことから能力や意欲、順応性・適応性を見ています。

企業が求める人材とは？

- ・ 即戦力、あるいは少々の研修等で戦力となりうるような人
- ・ 募集企業や仕事に関心を持ち、意欲が高い人
- ・ 自発的に仕事に取り組む人
- ・ 順応性、協調性がある人



2. あなたは何を見定めますか？

- ① 職場が自分に合っているか
- ② 自分の能力に見合った仕事か
- ③ 労働条件は満足できるものか

2 質問対策

面接の受け答えの際に心がけることは、下記の8点です。どのようにすれば短時間で相手に好印象を持ってもらえるか、あなたの長所を知ってもらえるかを考えてみましょう。

受け答えの基本

1. 的を射た答えをわかりやすく簡潔に述べる。
2. 積極性を全面に押し出し、印象づける。
3. 熱意・誠実さを持って一所懸命に。
4. 難しい質問は、少し間をおいて（あまり長いのも×）、よく考えて答える。
5. 内容が聞き取れない場合は、再度質問をお願いします。わからないまま答えない。
6. 質問の意味や意図がわからない場合は、一度反復して聞いてみる。
（「先ほどのご質問は・・・ということですか？」など）
7. 嘘をつかない（ただし、マイナスイメージの答えは避ける。）
8. 回答は会社・本人双方にとって前向きな答え方、表現でする。

面接では、コミュニケーション能力や意欲の高さ、順応性、協調性などを見定めるために様々な質問をされます。その場しのぎの付け焼き刃的な対応では、いい加減さ、計画性のなさが露呈してしまいます。しっかりと準備を行いましょ。

※必要最低限整理しておくべき基本的な事項

- ① 応募した動機 ② 自己のアピールポイント ③ 離職理由

1. 応募した動機

関連質問1. 「当社に応募した動機を教えてください」

あなたが調べた応募先の企業の情報に基づいて、どんな仕事をしたいか、何ができるのか、さらにはそこにあなたの能力のアピールを含めた答え方あるいは「この仕事をする事で〇〇の能力を伸ばしたい」など前向きに熱意・やる気が伝わるような答え方をするとよいでしょう。安定性や将来性を理由にすると熱意に欠けた答えになります。

関連質問2. 「当社について知っていることを教えてください」

あなたがどれだけ企業研究を行ったかが問われることになります。研究をしっかり行い、熱意を感じてもらいましょう。調べ方は求人票・インターネット・会社四季報などがあります。事業内容・特徴・仕事内容などをしっかりおさえておきましょう。

関連質問3. 「入社後はどんな仕事がしたいですか？」

仕事に対する意欲・熱意や会社にどのように貢献できるかが問われる質問です。①自分には〇〇ができる②だから、御社で〇〇の仕事をして貢献をしていきたいということを具体的に答えましょう。

関連質問4. 「他にはどんな会社の面接を受けられましたか？」

正直に答えましょう。ただし、「御社が第1志望です」と言うことを忘れずに！その理由も想定しておきましょう。複数の応募企業がある場合、その志望動機に一貫性があった方が説得力があります。同業種あるいは同職種であった方が、「その仕事をしたい！」という熱意が伝わることになるでしょう。

2. 自己のアピールポイント

関連質問1. 「簡単に自己PRをしてください」

結論を先に伝えるようにした方がわかりやすくなるでしょう。ここでも、仕事に対する熱意・積極性が見えるように努めましょう。もしも、職務経歴が少ないという場合は、ボランティア活動やサークル活動などでの経験をもとにあなたの与えられた役目に対する責任感や積極性を示すとよいでしょう。

関連質問2. 「あなたの長所と短所について話をしてください」

長所については、仕事にどう活かせるかということアピールするといいいでしょう。短所については差し障りのないように、フォローを入れたり、前向きに表現したりして工夫をして、短所がマイナスイメージにとられないように配慮しましょう。



関連質問3. 「あなたの趣味は何ですか？」

一見、アピールには関係なさそうな質問ですが、例えば、ジョギング・スポーツが趣味であれば、健康さをアピールできますし、うまく表現することにより、あなたの長所のアピールにつなげることができるでしょう。それが仕事に活かせる長所であれば、それもアピールしましょう。

3. 離職理由

関連質問1. 「前職をお辞めになった理由を教えてください」

答えにくい質問ですが、必ず聞かれると思っていいでしょう。嘘をついてはいけなからといって、前職場への不満や悪口は言ってはなりません。なぜなら、不満や悪口などを言うと協調性のない人物と見られてもおかしくないからです。前向きな答え方をすべきで、例えば「前職では〇〇の仕事に従事し、〇〇の能力を身に付けたのですが、〇〇の仕事をしたと思い、よく考えた上で離職しました。」など。前職の事をいろいろなよりも、これからどういう仕事をしたいという話を持って行った方がいいでしょう。

関連質問2. 「前職を辞めた後、間が空いているようですか…？」

間が空くと、就業意欲やスキルが落ちているのではないかとされます。例えば、勉強をしていた、家業を手伝っていた、求職活動で苦戦していたのであれば「慎重に検討していた」など無為に過ごさず、何かに取り組んでいたという答え方をしましょう。

4. その他の質問

質問1. 「転勤はできますか？」

特別な事情がない限りは可能と答えるべきでしょう。答え方によっては、仕事への意欲をアピールできます。どうしても転勤ができない事情があれば、相手が納得がいくような理由を具体的に伝えましょう。

質問2. 「いつから出社できますか？」

特別な事情がない場合、基本的には「いつからでも可能です」と、逆に「いつから出社すればよろしいですか？」と尋ねましょう。

質問3. 「希望する給与の額はいくらですか？」

規定でいくらになっているか分からない場合は確認して、規定額と自分の希望額（必要とする額）等をよく考えた上で答えましょう。

質問4. 「何か質問はありますか？」

熱意があって興味が強ければ、こう尋ねられたら、1つか2つは聞きたいことがあるはず。あらかじめ準備しておきましょう。

3 事前準備

1. 面接場所への交通機関・所要時間は調べましたか？

貴重な時間を割いて面接をしていただいているという意識を持ちましょう。事前によく調べ、確認をして、少し余裕を持って早めに着くようにしましょう。事故などで遅れそうな場合は必ず早めに先方に連絡を入れましょう。

2. 情報の収集について

応募する会社の情報はもちろんのこと、面接時に話題になりそうな情報（応募企業の業種に関連する）を新聞やテレビのニュースなどで収集しておきましょう。

3. 所持品の点検について

所持品の点検を必ず行いましょう。忘れ物があると、心理面で余計な焦りや心配が生じて、落ち着きがなくなったりします。

4 面接マナー

1. 電話のかけ方

電話をかける時からあなたはすでに見られています。どうすればいい印象を持ってもらえるでしょうか？

1. 事前準備をしましょう
(要件・スケジュールをしっかりと確認、静かな場所で)
2. 受け答えは明るくはきはきと簡潔に！
3. 早口や口癖（「あの～」 「えっと～」 など）に注意
4. 必ず日時・場所・電話番号・担当者名等をメモをして、復唱して確認する
5. 相手の立場を考える（昼の時間を避ける、「今お時間はよろしいですか？」、「お忙しい中ありがとうございました」などのお礼を忘れない）

2. 身だしなみ

見た目の第一印象はとても大切です。社会人として面接にふさわしい服装で行きましょう。

1. 「清潔感」のある服装を心がける
2. ヒゲ、整髪、ネクタイのゆるみに気をつける
3. 女性は化粧・マニキュア等が派手にならないように
4. スーツ・ズボン・スカートなどはプレスしたものを着用する
5. ツメはちゃんと切りそろえ、靴は磨いて、汚れに気をつける

3. 動作・態度など

面接の一連の動作を他人に見てもらったり、あるいは自分の動作が相手にどう写るか、鏡を見たりして確認するのもいいでしょう。

1. 背筋を伸ばして歩き方はキビキビと
2. 挨拶は、笑顔と元気な声で
3. お辞儀は腰から体を折り曲げ上体を素早く倒し、ゆっくり起こす
4. 深く腰掛けない
5. 言葉はハキハキと明瞭に
6. キョロキョロせずに落ち着いて
7. 答える際は面接官の顔を見ながら答えますが、視線は始終相手の顔を見るというのはきつく感じるかもしれません。顎から胸のあたりを見るのが自然でしょう



5 最後に

今回、面接特集ということで、できる限り凝縮してわかりやすくまとめています。ハローワークでは、様々なセミナーや窓口でのきめ細かな相談・支援を行っております。ぜひご利用ください。



ハローワークからのお願い：紹介を受けた事業所への応募を辞退する場合は、事業所とハローワークに必ず連絡してください。社会人としてのマナーを守りましょう。